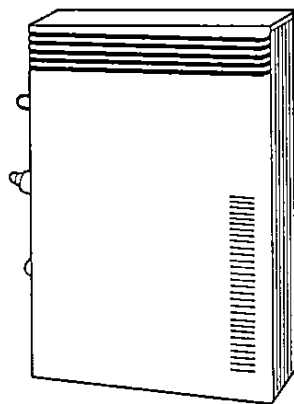
〈セントラル給湯機能付き〉
ガス風呂釜
〈ポンプ循環タイプ・気泡機能付き〉
わくわく16　31-013型

型式名 GTB-161A

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点がありましたらお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

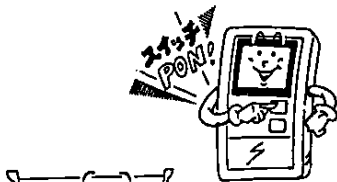
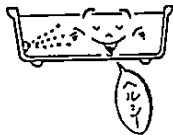
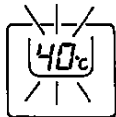
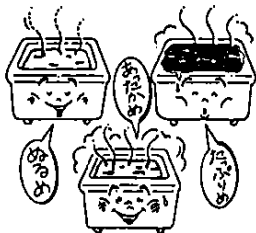
SAH8130

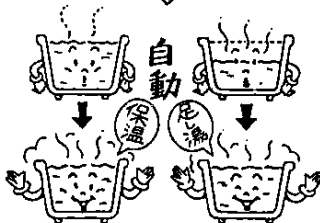
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付〉をお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

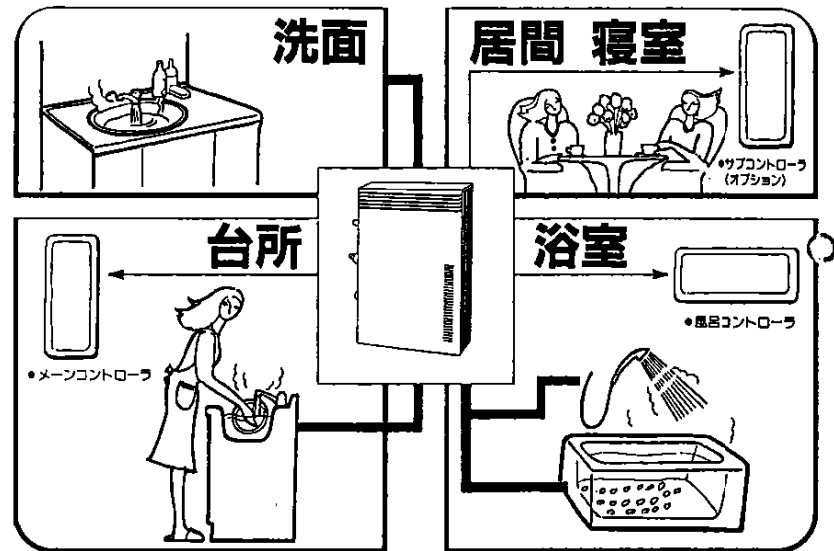
もくじ

特長・機能の紹介

スイッチポンでお風呂が沸かせます。
……17ページをごらんください。

入浴中にマッサージが楽しめる気泡機能がついています。(「あったかめ」との同時運転も可能です。)
……25ページをごらんください。

お風呂の温度や時刻がひと目でわかるデジタル表示になりました。

気分にあわせてちょっと「ぬるめ」「あったかめ」「たっぷりめ」のお風呂が楽しめます。
……「あったかめ」…22ページ
「たっぷりめ」…23ページ
「ぬるめ」………24ページをごらんください。

お好きな時刻にお風呂が沸かせる「お風呂予約」ができます。
……21ページをごらんください。

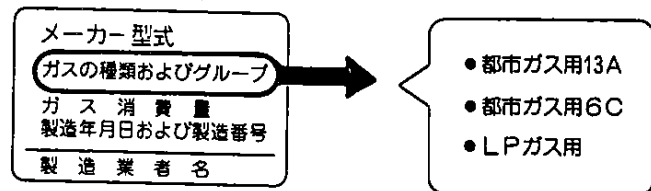
自動運転後、(自動スイッチを入れてから4時間以内なら)お湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足し湯。いつも快適なお風呂に入れます。

気泡機能付き全自動風呂釜

スイッチポン!で、ゆとりが生まれます。

手軽に気泡風呂が楽しめ、
いつでも沸きたてのお風呂。
保温と足し湯機能が付いた便利さ。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
器具本体の側面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

●ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

●給湯及びシャワー及び風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

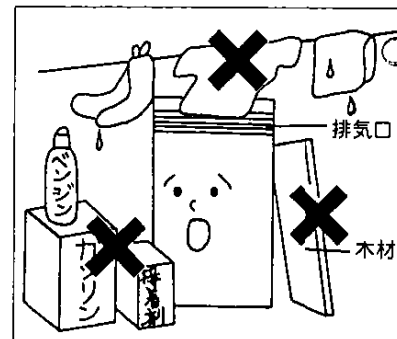
●器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

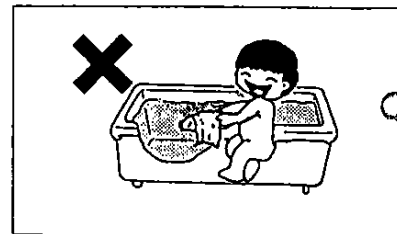
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

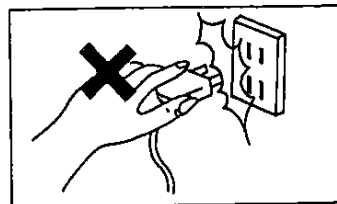
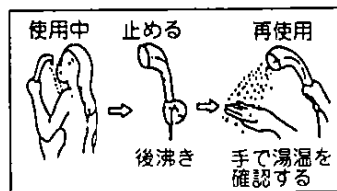
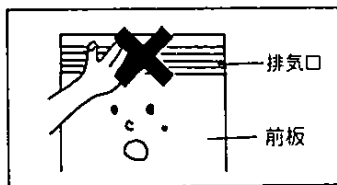
●使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
●使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

火災予防

●器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
●排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

空だき防止

●浴槽の排水せんが確実に閉まっていることを確かめてください。
●浴槽の風呂アダプターをタオル等でふさぎますと循環不良となり、お風呂沸しはできません。

やけどのご注意

●ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。

●シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。〔絶対に使用しないでください〕
●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。

凍結についてのご注意

●冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は27ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

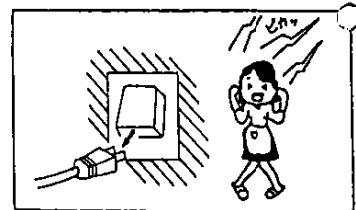
凍結したとき

①器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（有料）
②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、15ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。

異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。(33ページ「故障かな？と思ったら」にしたがって処置を行なってください。)

雷雨時のご注意

●近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
（電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。)
●雷が遠ざかったことを確めてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

日常の点検・手入れ

●日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは31ページをごらんください。)
●故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
●このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

入浴剤や洗剤についてのご注意

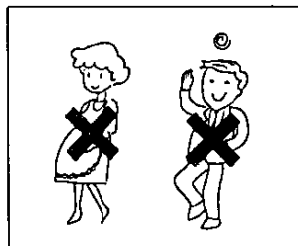
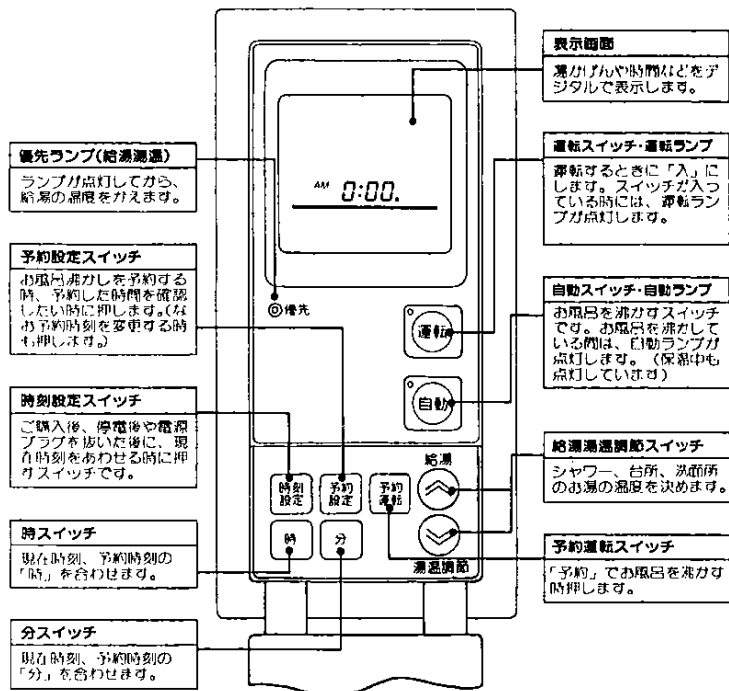
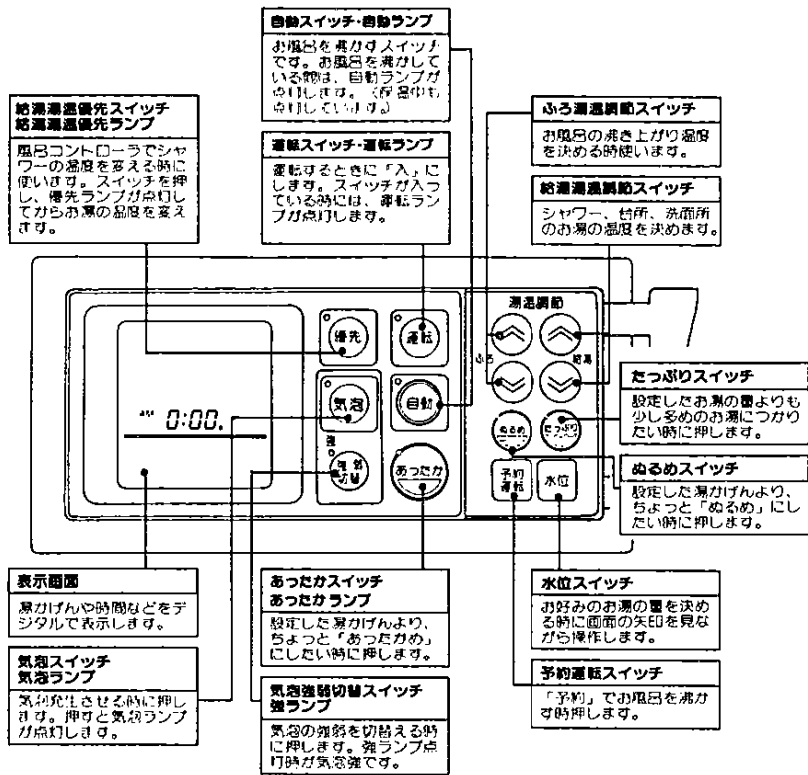
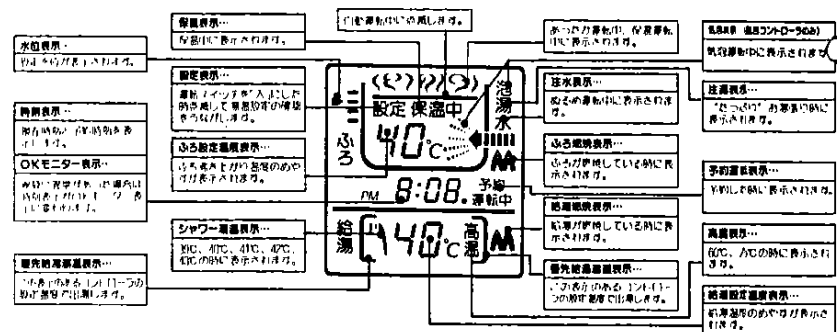
●硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。
●付属の入浴剤は風呂釜をいためませんので安心してご使用ください。

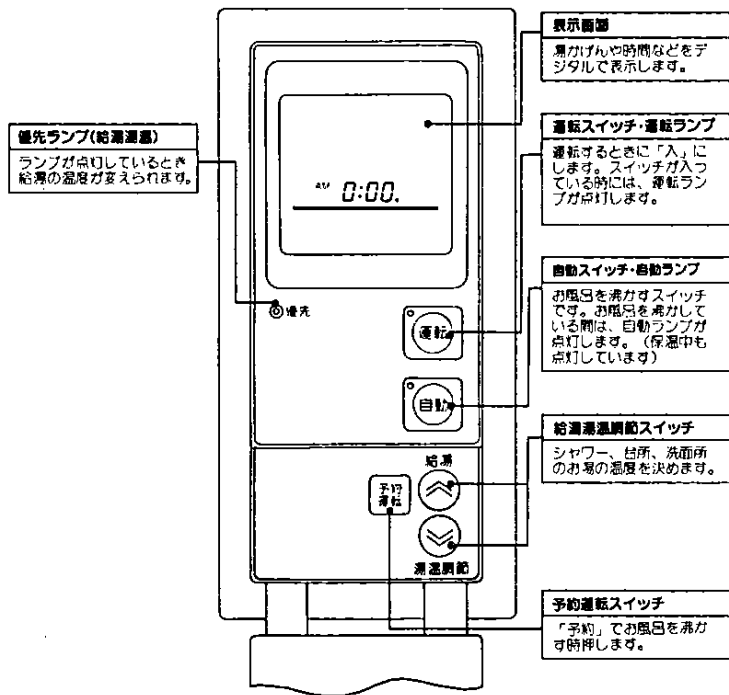
飲用にお使いのとき

●器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

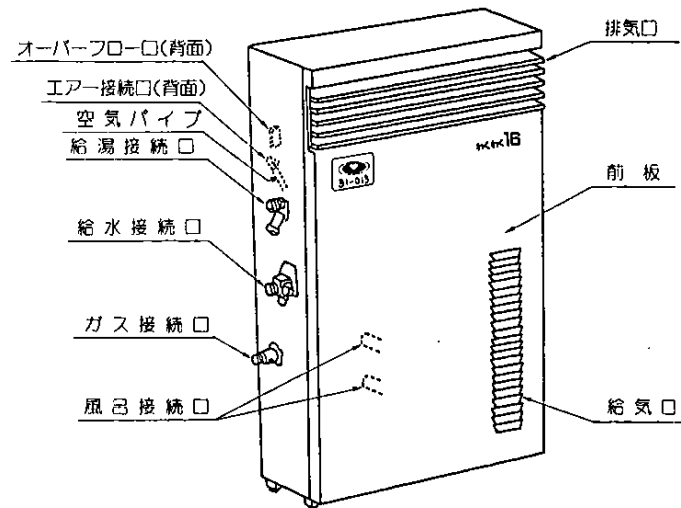
気泡入浴についてのご注意

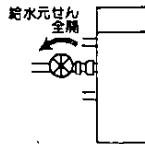
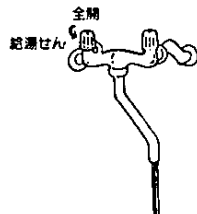
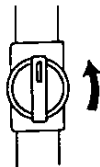
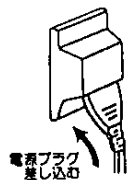
- 快適な気泡入浴を楽しむためには、微温浴をおすすめします。（気泡浴は泡の噴流によって実際の温度より1～2℃高く感じます。）
  詳しくは入付の「快適気泡浴のおすすめ」をご参照ください。
- はじめて、気泡入浴される場合は、長時間あたると疲れる場合がありますのでご注意ください。
- 入浴温度や使用時間について体質、体力に個人差があります。体調に合わせてご使用ください。
- 心臓病、肝臓病、脳出血、心筋梗塞、高度の貧血などから医師から入浴を禁じられている方や、妊産婦の方は気泡の使用をさけてください。

各部の名まえと扱いかた

●メーンコントローラ（台所などに取り付けるメーンコントローラ）

●風呂コントローラ（お風呂に取り付ける風呂コントローラ）

●画面表示

● 上記画面表示は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。

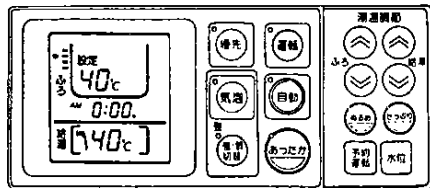
●サブコントローラ(居間などに取り付けるサブコントローラ 36-015型)(オプション)

(ご注意)

● 優先ランプは、このサブコントローラの運転スイッチを「入」にしたときのみ点灯します。
(風呂コントローラの給湯湯温優先スイッチを操作しても点灯できません。)

●器具本体

初めてお使いいただくときは

1 給水元せん（器具の側面）を全開にします

2 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます

3 ガス元せん（器具の側方にあります）を全開にします

4 電源プラグ（器具の周辺にあります）をコンセントに差し込みます

5 「運転」スイッチを押し「入」状態にします

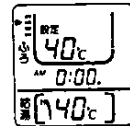
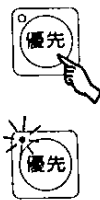
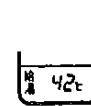
- 運転ランプが点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。

お買い上げいただいた時には、お湯の温度は40℃に設定してあります。

使用方法・給湯・シャワー

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

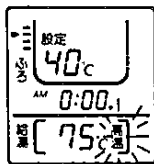
- 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 給湯湯温調節スイッチを押して温度を調節します

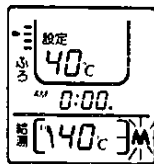
- 電源投入時は「40℃」になります。

★メーンコントローラ・サブコントローラ（オプション）でも、シャワー（台所など）の温度を変えられますが、その場合は、給湯湯温優先ランプの点灯を確かめてください。給湯湯温優先ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを一度切り、再び運転スイッチを押してから、湯温を設定してください。（風呂使用中は変更しないでください。）

● 温度の調節は38～46℃まで一度押すと1℃ずつそれ以上は50℃、60℃、75℃の表示かでます。温度表示は目安です。

あとはシャワーなどをお使いになると、設定した温度のお湯が出ます。

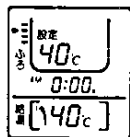
★シャワーの温度はこのスイッチで決まります。コントローラの表示画面の「給湯」側に、設定した温度が表示されます。
シャワー適温範囲時、39℃～43℃には"\マークが出ます。

60℃、75℃の時は [高温] という文字が点滅して注意を促します。
（シャワー使用中湯温を変えるとやけど等非常に危険です。）

3 給湯せんを開けます

● 画面の給湯部に（AA）が表示され、お湯が出ます。

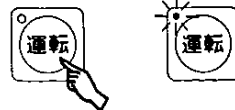
- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- 給湯せんを2ヶ所以上で同時使用されますとぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。
- ご使用後すぐに、再度お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用される時は手で湯温を確かめてからご使用ください。

4 給湯せんを閉めます

● バーナが消火し、画面の給湯部の（AA）が消えます。

ご注意

- 自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、温度は自動お湯はり温度になります。また、水圧などにより出湯量が少なくなる場合があります。
- 停電後または、電源プラグを抜き差ししたあとは温度設定は「40℃」に戻ります。

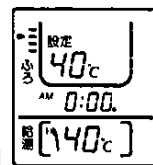
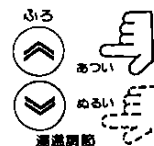
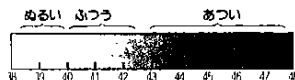
風呂自動運転

● 浴槽の排水せんを閉じてください。
● 浴槽にフタをしてください。

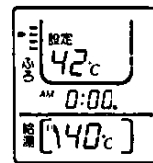
1 運転ランプが点灯していることを確かめます

● 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

風呂コントローラで

2 お風呂の沸き上がり温度を設定します

● 右図が表示されます。はじめは、40℃に設定されてあります。

お湯の温度には個人差があります。
この表はだいたいの目安です。

● 風呂コントローラのふたを開けて、図のように「ふろ」と書いてあるほうの湯温調節スイッチでお好みの沸き上がり温度を決めます。

● 設定温度は38℃～48℃の1℃きざみで一度押すと、1℃ずつ変化します。押し続けると連続で表示が変わります。（温度表示は目安です。）

● コントローラの表示画面の「ふろ」側に、設定した温度が表示されます。

★停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは自動的に40℃に戻ります。再度セットしなおしてください。

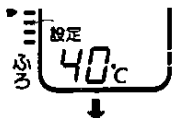
3 お湯はり水位を設定します

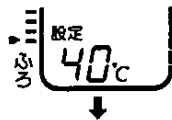
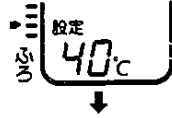
①右の図の画面の矢印は、あらかじめ決められた量で、最初上から２番目の位置にあります。

②水位を変えたいときは、風呂コントローラのふたを開け、水位スイッチを押します。

③水位スイッチを押すごとに水位が下図の順序で変わります。

＊例えば
110cm浴槽では
底から約45cmの
水位で自動停止
します。

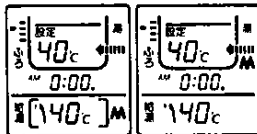
●(水位スイッチ)を１回押すと…
はじめに設定してあった水位から約5cm上がります。

●(水位スイッチ)を２回押すと…
はじめに設定してあった水位から約10cm下がります。

(★古い風呂がまから取替された場合、循環口の高さによっては、この位置での設定ができないことがあります。)

●(水位スイッチ)を３回押すと…
はじめに設定してあった水位から約5cm下がります。

●(水位スイッチ)を４回押すと…
はじめの水位にもどります。

★停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは、自動的に２番目の位置に戻ります。
再度セットしなおしてください。

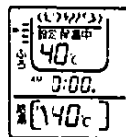
4 自動スイッチを押します

(もちろんメーンコントローラ・サブコントローラ(オプション)でも操作できます。)

●自動スイッチのランプが点灯します。
●お風呂沸かしがはじまりました。
●お風呂沸かしの途中は、右図の表示がされます。

お湯はり時の表示

追いだき時の表示

5 お風呂が沸くと自動でストップします

●表示された温度にお風呂が沸き上がると、ブザーでお知らせしたあと、自動的に保温・足し湯の準備になります。
●沸き上がったら、右図の表示がされます。自動スイッチのランプは保温中(４時間)は消えません。

6 お湯の温度が下がったら、自動であたためます

●お湯の温度が下がったら30分毎に自動的に暖める保温機能がついています。自動スイッチを入れてから４時間はたらきます。

7 お湯が減れば自動で足し湯します

●お湯が減ると自動的に元の量(水位)まで足し湯します。自動足し湯も４時間有効です。

★保温・足し湯の必要がない場合は、もう一度自動スイッチを押してください。
ランプが消灯し、保温・足し湯をおこないません。

●沸かし直し

●前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「自動運転」とまったく同じ手順を行ないます。
設定水位により湯量が減っている場合は、設定した水位まで足し湯したうえで設定温度に沸かしあげます。

2の沸き上がり温度の設定および3のお湯の量の設定は、運転スイッチを「切」ったあとでも器具が記憶していますので、あらためて設定しなおす必要はありません。
1と4の操作だけで結構です。

ご注意

●自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、給湯の温度は自動お湯はり温度になります。
またお湯はり時間は長くなります。

使用方法・時刻設定

★停電後は0:00の表示に戻りますので再度時計を合わせる必要があります。

●メーンコントローラのふたを開けて操作します。

1 時刻設定スイッチを押します

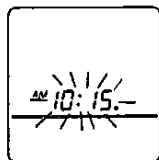
●スイッチを押すと、画面の時刻表示が点滅します。

2 時　分スイッチで、現在時刻を合わせます

●時分スイッチを押しながら、現在時刻を画面に表示します。
押し続けますと、連続的に数字が変わりますのでご注意ください。

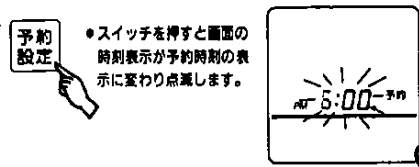
★AM（午前）とPM（午後）を間違えないように／

3 時刻設定スイッチを再度押します（点滅が止まります）

4 時刻合わせができました

●時分表示は、あわせてから約10秒後、自動的に点滅は止まります。

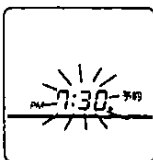
使用方法・風呂の予約運転

ご注意／
◎現在時刻が合っているか確認してください。
◎メーンコントローラのふたを開けて操作してください。
◎「予約運転」でお風呂を沸かした時は、保温と足し湯機能ははたらきません。
◎これはお湯はりし始めの時刻の予約です。（お湯はり完了の時刻ではありません。）

1 予約設定スイッチを押します

●スイッチを押すと画面の時刻表示が予約時刻の表示に変わり点滅します。

2 予約時刻を合わせます

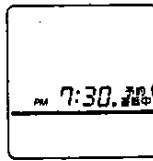
時　分スイッチを押します。再度予約設定スイッチを押し、現在時刻に戻します
（点滅が止まります）

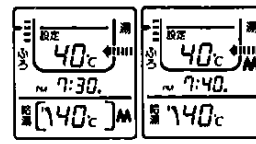
●お湯はりしはじめたい時刻を　時　分　スイッチを押しながら、画面に表示します。
●押し続けると、連続的に数字が変わりますのでご注意ください。
★AM（午前）とPM（午後）を間違えないように／

●お湯はりしはじめたい時刻が画面に表示されました。

3 予約運転スイッチを押します

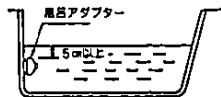
（風呂コントローラ・サブコントローラ（オプション）で押してもかまいません。）

★予約時刻の確認(メーンコントローラでできます)
予約設定スイッチを押すと、画面に予約した時刻が3秒間表示されます。

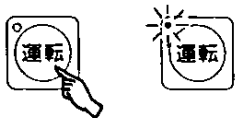
★予約の変更
メーンコントローラでおこなってください。
予約運転スイッチを押して、予約の取り消しを行った後、123の順で予約をしてください。
（予約運転を中止したいときは予約運転スイッチを再度押してください。）

●画面に2で決めた時刻が表示され、3秒後に現在時刻にもどると同時に「予約運転中」の表示がでます。
●予約が完了しました。あとは決めた時刻に自動的にお風呂沸かしがはじまり、沸き上がると自動ストップします。
★「予約」「運転中」の表示が出ていることを確認してください。

4 予約時刻になると運転が始まります

●自動スイッチのランプが点灯します。
●お湯はりがはじまりました。
●お風呂沸かしの途中は、右図の表示がされます。

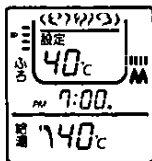
使用方法 「あっため」機能

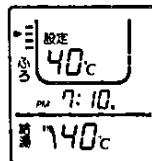
●風呂コントローラのスイッチひとつで、お湯かげんの設定をしなおさずに、「ちょっとあつめ」のお風呂が楽しめます。
また入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。
★浴槽に湯が（水が）入っているか確認してください。

浴槽の湯(水)が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。

※自動運転中は「あったかめ」は使用できません。「保温中」の表示で器具が燃焼運転中以外であれば使用できます。また「ぬるめ」「たっぷり」の使用時も使用できません。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 「あったか」スイッチを押します

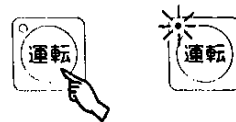
●あったかスイッチのランプが点灯して、お風呂の追いだきをはじめます。
●右図の画面は、あったか機能がはたらいている状態です。

3 「あったかめ」のお風呂になったら、ランプは消えます

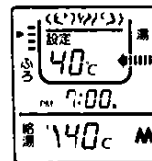
●スイッチを押すと、設定温度より約2℃お湯の温度が上がり、自動的にとまります。
★途中で消したい場合はもう一度あったかスイッチを押してください。ランプが消えます。

＊終了後はかくはんのためポンプが約10秒間回ります。

使用方法 「たっぷり」機能

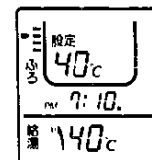
●あらかじめ決めてあった水位を変更せずにスイッチひとつで「たっぷりめ」のお風呂が楽しめます。

※自動運転中は「たっぷり」は使用できません。「保温中」の表示で器具が燃焼中以外であれば使用できます。また、「ぬるめ」「あったか」の使用時も使用できません。
※気泡運転中も「たっぷりめ」は使用できません。
※「たっぷりめ」使用中に「気泡」を使用した場合、「気泡」優先となり、「たっぷりめ」は止まります。
この場合、気泡が作動するまでに少し時間がかかりますが故障ではありません。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、運転状態にします。

2 風呂コントローラの「たっぷり」スイッチを押します

●お湯を足しはじめます。
●右の画面は、お湯を足しているときの表示です。

3 「たっぷり」のお湯になったら、ランプは消えます

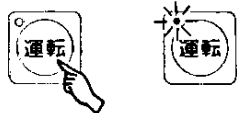
●スイッチを押すと、約20リットルのお湯が増え、自動的にとまり表示が消えます。

★途中でとめたい場合は、もう一度たっぷりスイッチを押してください。
その時点で足し湯がとまり表示が消えます。

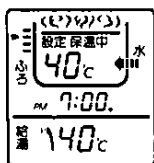
＊例えば
1.5人用浴槽では約5cm水位が増えます。

使用方法 「ぬるめ」機能

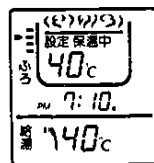
●スイッチひとつで、簡単にちょっと「ぬるめのお風呂」が楽しめます。

※自動運転中は「ぬるめ」は使用できません。
「保温中」の表示で器具が燃焼運転中以外であれば使用できます。
※「ぬるめ」は給湯(シャワー)使用中は使用できません。
※「ぬるめ」使用中給湯(シャワー)を使用するとその時点で「ぬるめ」運転は停止します。
※気泡運転中も「ぬるめ」は使用できません。
※「ぬるめ」使用中に「気泡」を使用した場合、「気泡」優先となり、「ぬるめ」は止まります。
この場合、気泡が作動するまでに少し時間がかかりますが故障ではありません。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、運転状態にします。

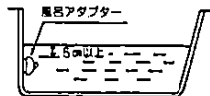
2 風呂コントローラの「ぬるめ」スイッチを押します

●浴そう内に水が約10ℓ注水され自動的に停止し、ます。
●右の画面は水を足している時の表示です。

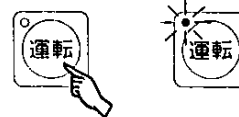
3 やや「ぬるめ」のお風呂になったら、ランプは消えます

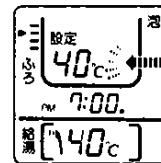
●もう少し「ぬるめ」がお好みなら、もう一度「ぬるめ」スイッチを押します。
以後もおなじことを繰り返します。

使用方法 「気泡」機能

●スイッチひとつで、簡単に「気泡風呂」が楽しめます。

※「あったか」使用中でも「気泡」は使用できます。
※自動運転中も「気泡」使用ができます。ただし、電源投入後または停電後の初めての自動運転中は「気泡」は使用できません。
※自動運転中、「たっぷりめ」運転中、「ぬるめ」運転中は、気泡がすぐに作動しないことがありますが、故障ではありません。

※浴槽に湯が(水が)入っているか確認してください。

浴槽の湯(水)が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。

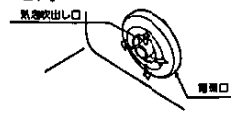
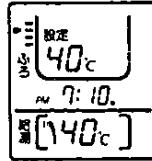
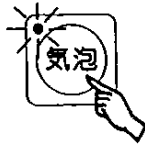
1 運転ランプが点灯していることを確かめます

●運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、運転状態にします。

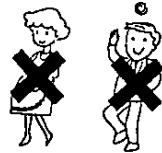
2 風呂コントローラの「気泡」スイッチを押します

●気泡運転は10分間で自動的に停止します。

●気泡スイッチのランプが点灯して、気泡運転を開始します。
●右図の画面は、気泡機能がはたらいている状態です。

3 気泡の強弱をきりかえます

●気泡水流を弱くしたい場合は気泡強弱切替スイッチを押します。
強ランプが消え、弱に切替ります。
●もう一度、気泡強弱切替スイッチを押すと強に戻ります。

気泡の吹出し方向の変えかた
・循環口の気泡吹出し口を好みの方向に向けてください。

4 「気泡」スイッチをもう一度押すと、気泡は停止します

気泡入浴についてのご注意

- 快適な気泡入浴を楽しむためには、微温浴をおすすめします。（気泡浴は泡の噴流によって実際の温度より1～2℃高く感じます。）詳しくは入付の「快適気泡浴のおすすめ」をご参照ください。
- はじめて、気泡入浴される場合は当初入浴時間、1日につき2～3分程度から始めてください。そして慣れるにしたがって使用時間をのばしてください。しかし長時間あたると疲れる場合がありますのでご注意ください。
- 入浴温度や使用時間について体質、体力に個人差があります。体調に合わせてご使用ください。
- 心臓病、肝臓病、脳出血、心筋梗塞、高度の貧血などから医師から入浴を禁じられている方や、妊産婦の方は気泡の使用をさけてください。

より快適な気泡浴のために

- 付属の入浴剤を使ってマイルドな泡をお楽しみください。

- 付属の入浴剤はもよりの大阪ガスサービスショップでお買い求めになれます。詳しくはサービスショップにお問い合わせください。

凍結予防方法

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。

給湯・ふろ回路の凍結予防

凍結予防用ヒーターによる方法

◎通常時はこの方法で十分です。 **操作のしかた**

給湯側

- この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを組み込んでいます。この装置はコントローラの運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、器具の電源プラグが抜けているとヒーターは働きませんのでご注意ください。
- 外気温が極端に低い場合（－15℃以下）はこの装置では凍結予防ができなくなります。

※配管部分の凍結まで予防できませんので必ず保温材を巻きつけてください。

ポンプ自動運転

ふろ側

- この器具には外気温がさがってくると自動的にポンプが運転し凍結を予防する装置を組み込んでいます。
- 浴そうの残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。

（電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると動作しませんので注意してください。）

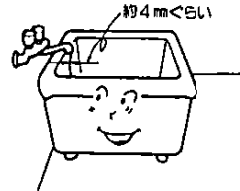
通水による方法

◎異常寒波などの場合この方法をとってください。 **操作のしかた**

給湯側

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

①コントローラの運転スイッチを「切」にする。
②ガスの元せんをしめる。
③おふろ場の給湯せんをあけ1分間に200cc（牛乳ビン1本ぐらい）を浴そうに流し込みます。（特に寒い日は多目に）

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

（浴そうに流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用ください。）

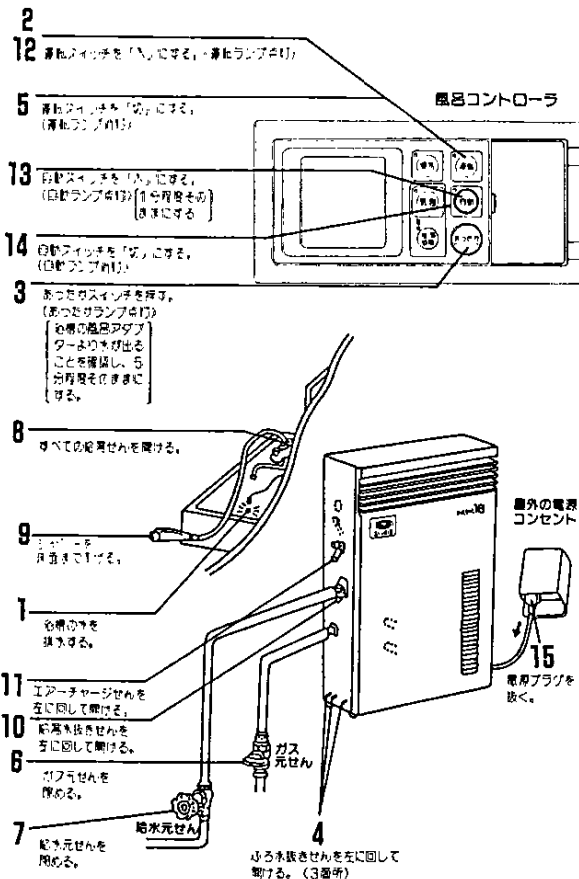
水抜きによる方法(ふろ側・給湯側とも水を抜いてください)

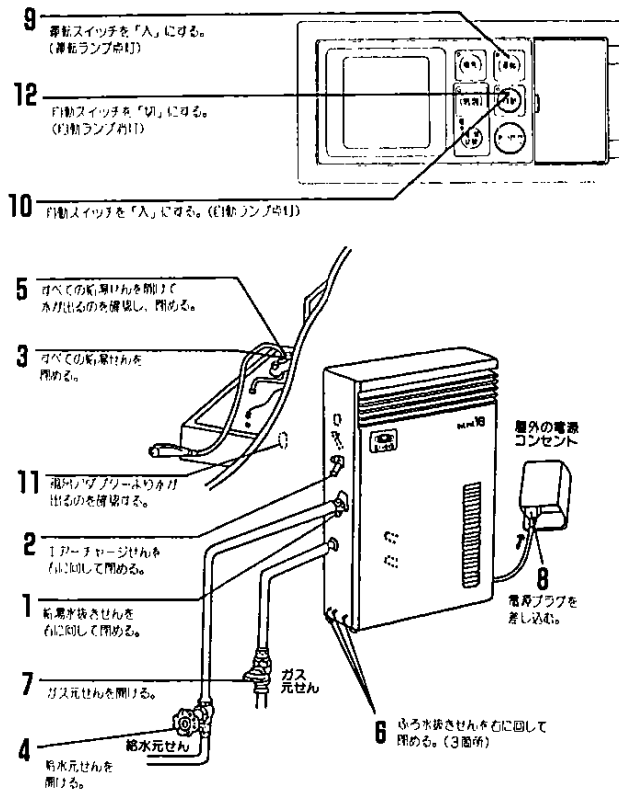
ふろ側・給湯側

◎長期不在などの場合
この方法をとってください。

操作のしかた

器具内の水を抜き凍結を予防する方法（長時間にわたって使用しない場合も必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。）
＊ふろ側から先に水抜きを行ないます。

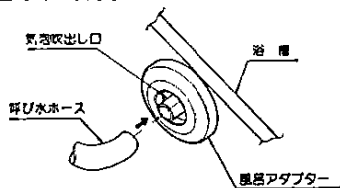
水抜き後再使用する場合

操作のしかた

●再度使用されるときは、次の方法で行なってください。
※給湯側より先に行ないます。

※6〜12はポンプへの呼び水の手順です。
なお、呼び水は次ページのしかたでも可能です。

●以上の操作を行なってからご使用ください。

ポンプへの呼び水のしかたは次の方法でも可能です

①ふろ水抜きせん（3箇所）を右に回して閉めます。（閉まっているのを確認します。）

②風呂アダプターの気泡吹出し口にホースをさし込み充分に水を入れてください。
（風呂アダプターの周囲から水が出てくれば充分です。）

現場施工の状況により、「凍結予防用ヒーターによる方法」や「水抜きによる方法」では、配管・バルブ類の凍結防止はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

凍結して水が出ない場合

①コントローラの運転スイッチを切る
⇩
②ガス元栓を閉める
⇩
③給水元栓を閉める
⇩
④給湯栓を開ける
⇩
⑤水が出るまで待つ
⇩
⑥凍結がとけたあと水漏れがないか確認し使用を開始する

ご 注 意
- 凍結したまま使用しないでください。
- 凍結による修理は保証期間内でも有料です。

点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- 器具及びコントローラはフタを開けないでください。（故障の原因になりますので絶対に分解しないでください。）

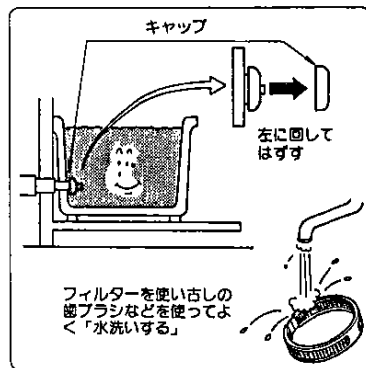
●点　検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

●お 手 入 れ

●外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

●フィルターの掃除
浴そう内のキャップを外し、フィルターを月に1回程度掃除してください。

※なおフィルターの掃除をしたあとは必ずもとのように取り付けてください。

●コントローラの掃除

★コントローラの表面が汚れた時は、十分水を絞った布で拭いてください。(かわいた布で拭いた場合、液晶部が乱れることがありますが故障ではありません。)放置しておきますともとの状態に戻ります。

★コントローラの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

点検お手入れ後の確認

●点検、お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

●器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が"正常"かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための、"ひけつ"です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

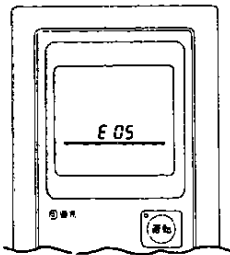
ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象 / 原因	優先ランプが点灯しない(メーンコントローラ)	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても給湯燃焼ランプが消えない	給湯燃焼表示(M)が点灯しない	ふろ燃焼表示(M)が点灯しない	ふろが沸かない、または沸きが遅い	気泡が出ない	処置方法	お客さま	販売店または大阪ガス支社
電源プラグがはずれている	○	○						○	○			プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元栓の開き不十分		○	○	○		○		○	○	○		ガス元栓を全開にする	*	
給湯元栓の開き不十分		○	○		○	○		○				給湯元栓を全開にする	*	
配管内に空気が残っている		○	○					○	○			点火操作を繰り返す	*	
水ストレーナの詰まり		○	○		○	○		○				詰まりを除去する	*	
断水している		○						○				給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している		○						○				解凍するまで使用を中止する	*	
給気口・バーナ炎口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○				○	○	○		点検を依頼する		*
安全装置が作動		○	○					○	○			点検を依頼する(度々作動する場合)		*
電気部品の故障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		点検を依頼する		*
停電	○	○	○					○	○	○		再通電するまで待つ	*	
空気パイプ(器具背面)の水だまり											○	空気パイプを外し、たまっている水をとり除く	*	
風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」が適切でない。	○			○	○							風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、湯温調節スイッチで好みの温度にする	*	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

●OKモニターの表示をお調べください。

この器具がもし異常や故障になったときは表示画面に下表の原因別表示をします。
サービスをご依頼されるときは表示記号をあわせてご連絡ください。なお60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きすると、燃焼が停止し、OKモニター「E05」「E0H」を表示します。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

表示例

表示	内容	対処
E01	給湯入水温度センサー系統の不具合	※
E02	給湯出湯温度センサー系統の不具合	※
E03	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	※
E05	給湯60分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
E06	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	
E07	ファン回転検出系統の不具合（給湯）	※
E09	ふろ循環温度センサー系統の不具合	※
E0C	ふろ呼び水の不足	呼び水をする(29, 30ページ参照)
E0E	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	※
E0F	ふろお湯張り系統の不具合	※
E0H	ふろ90分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
E0L	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	
E0P	ファン回転検出系統の不具合（ふろ）	※
E22	ふろお湯張り系統の不具合	※
E24	浴そうの排水せん忘れ	浴そうの排水せんを確認する
E2E	水量制御系統の不具合	※
E2L	ふろお湯張り系統の不具合	※
U3H	コントローラ系統の不具合	※
U3L		
U3P		

（ご注意）
※印又は不明な場合はお買い求めの販売店または大阪ガス支社に表示をご連絡ください。

●次のような場合は故障ではありません。

こんな場合	説明
給湯せんを絞りすぎて水になった	この器具は流水量が3.5ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
冬期など寒いとき追い焚きのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行ないます。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
自動運転時途中で注湯が停止する	これは浴そう内の残り湯の検出を行なっているため、間欠運転の状態になっているためです。
自動、「たっぷりめ」、「ぬるめ」運転中、気泡がすぐ作動しない	各運転モードから気泡モードに移るのに少し時間がかかるためで、異常ではありません。
かくはんのためポンプが回る	「あったか」運転終了後、かくはんのためポンプが約10秒間回ります。
器具背面のオーバーフロー口より水が出る	気泡の出口を手で押えると水が逆流し、オーバーフロー口よりあふれることがあります。
表示画面（液晶）が乱れている	コントローラをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置（30分以上）しておくと正常にもどります。
表示画面が0:00になっている	停電後、再通電すると表示画面の時計表示が0:00になります。なお水位・温度表示も変わります（初期状態）ので、再度設定をしてください。

●安全装置の種類とその働き

●次の安全装置が作動した場合は、コントローラの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水元せんを閉めてお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

- ●立消え安全装置……バーナが正常に燃焼しない時、作動し、ガスを自動的にストップします。
- ●空だき安全装置……熱交換器が万一空だきした時に作動し燃焼を自動的にストップします。
- ●過熱防止安全装置…器具内部の雰囲気温が異常に高くなった時、作動し燃焼を自動的にストップします。
- ●水位検知安全装置…浴槽の水位を検知し、正常水位を保持する装置です。
- ●漏電安全装置………万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。
- ●凍結予防装置………器具内の雰囲気温が低下すると作動し、器具内の凍結を予防します。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

仕様

商品の呼び		31-013型
型式の呼び		GTB-161A
種類	設置方式	屋外設置型
	給湯方式	先止め式
点火方式		電子イグナイターによるダイレクト点火
水圧	使用水圧	1.0～10kg/cm²
	作動水圧	0.15kg/cm²
最低作動流量		3.5ℓ/分
外形寸法		高さ900mm×幅500mm×奥行210mm
重量（本体）		42kg
接続	給水	R½
	給湯	R½
	風呂	R¾
	気泡	φ8
	ガス	都市ガス6C　R¾、LPガス・都市ガス13A　R½
電気関係	電源	AC100V（60Hz）
	消費電力	100W（凍結予防ヒーター 194W）
	電源ケーブルの長さ	2m
安全装置		空だき安全装置、立消え安全装置、過圧防止安全装置、逆流防止装置、凍結予防装置(凍結予防ヒーター、水抜きせん) 漏電安全装置、過熱防止装置、水位検知安全装置

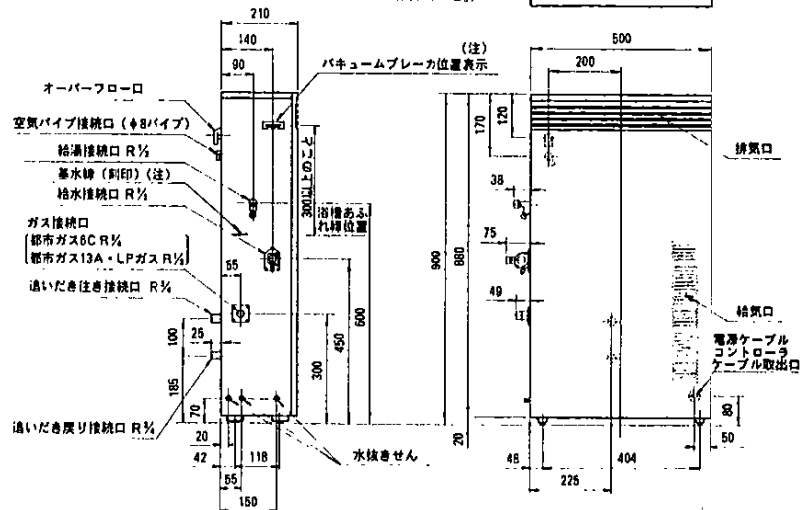
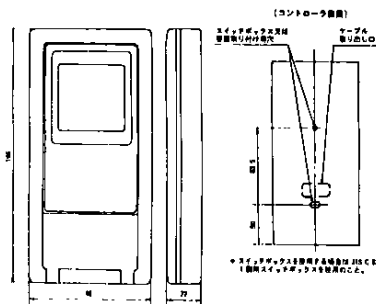
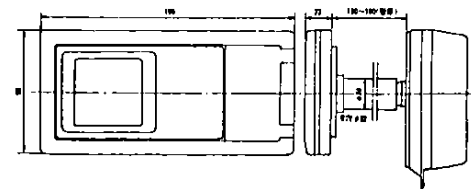
使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量（最大消費量）(kcal/h)			出湯能力(能力大)（ℓ/分） 上昇温度	
		給湯風呂併用	給湯側	風呂側	25℃	40℃
都市ガス	6C	42500	30500	12000	16.5	10.3
	13A	42500	30500	12000	16.5	10.3
LPガス		3.55kg/h	2.55kg/h	1.0kg/h	16.5	10.3

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。
◎出湯能力は計算値です。
◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

寸法図

●器具本体

（単位：mm）

※風呂配管延長長さは6m5曲がり以内。
※バキュームブレーカ位置が浴槽あふれ縁より300mm以上、上となるように設置すること。(基水線が浴槽あふれ縁よりも上になるように設置すること。)

●メーンコントローラ、サブコントローラ
（36-015型・オプション）

●風呂コントローラ

●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガスの元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)器具の水抜きを行なう。〔水抜き方法は28ページを参照してください。〕

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●まず「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2. 品名……31-013型（右のようなラベルを器具の左側面下部に貼付けてあります。）
3. 現象……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N)31-013(U)
大阪ガス株式会社 05

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●このガス風呂釜には保証書がついています。
●保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

●無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社	〒	所在地	電話番号
南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪 06(652)0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪 06(301)1251
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎ 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高 槻0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西 宮0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河 内0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京 都075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1601
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草 津0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長 浜0749(62)7171)
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大 阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

「おねがい
ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。」